

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

Vol. 05

2024(令和6)年
1月末発行

● 関西広域産業共創プラットフォームの連携コーディネーター (CD) のご紹介 Vol.1

当PFの連携コーディネーターは、少なくとも週1回の頻度でリアル・オンラインの併用によるCD会議へ参加し、寄せられたさまざまなご相談に対し最適な解決方法についてディスカッションすることに加え、域内公設試・連携機関との交流、関西の企業様向けイベントにおけるPR活動などを行っているところです。

どんな小さな困り事にもその裏には科学と技術があり、革新的な技術や新製品開発につながる面白さがあります。「小さな相談、大きなチャンス」をモットーに、精一杯取り組んでまいりますので、日々、企業支援にご尽力されておられます公設試・研究機関・産業支援機関におけるお困り事についても、是非、当PFへお寄せいただければと思います。

さて、本号と次号では、当PFの10名の連携コーディネーターについてご紹介させていただきます。

統括ディレクター
伊藤 順司



徳丸 亀鶴 (とくまる きかく)

専門：電気

大手メーカーにて、電力ケーブル、交通
管制システム、蓄電システム等の技術
開発に従事。

電力、システム系に精通し、
環境エネルギー関係への知見も深い。



阪上 尚平 (さかうえ しょうへい)

専門：金融

地域金融機関で培った大学・研究機
関の幅広いネットワークを活かして、皆
様の新事業への取組をサポートします。

フットワークの軽さに自信あり。
好きな言葉は「百聞は一見に如かず」。



川村 昌司 (かわむら まさし)

専門：材料工学

大手重工メーカーにて、高温材料に関する
研究開発や経営企画を担当。現在は産業
支援機関にて、関西地域の中堅・中小企
業に対する産業振興支援業務に従事。
研究開発から社会実装まで、広範な支援
対応が可能。



吉江 信夫 (よしえ のぶお)

専門：情報処理、情報ネットワーク

大手メーカーにて、情報処理システムや
情報通信装置の研究開発、事業推進に
従事。現在は、IoT/AI技術等のデジタル
技術を活用し、生産現場における課題の
改善や、事務処理業務のDX推進に従事。



上記内容は、ウェブサイト「かんさい
ラボサーチ」からもご覧いただけます。
アクセスはこちら



～事務局便り～

元日に能登半島での大地震、二日には羽田空港での旅客機事故と続き、多難な年明けとなりました。これらのニュースが連日報じられましたが、特に気になったのは前者では「孤立」、後者では「団結」です。

地震被害の大きい地域では、道路の寸断や通信途絶などにより物理的、情動的に孤立してしまい、機動的な救助・支援体制がとれず、今なお多くの住民が不自由な生活を余儀なくされていると報道されています。高度に整備されて便利な交通・情報NWを前提とした社会システムの脆弱性を実感させられます。

旅客機の事故では、300名弱の乗客・乗員が無事避難し、機体炎上という最悪な状況下で最良の結果をもたらしました。これは個と全体との利害の調和、いわゆる「one for all, all for one」がいかに重要かを、単なる概念ではなく現実として示しています。

当PFの存在意義や今後の活動に目を移すと、イノベーション創出の原動力である企業・公設試の「孤立」を防ぎ、「団結」を促進することが大きな使命であることを改めて認識します。公設試の自律性を担保しつつ、さらに広域NWを構築して個と全体の利害の補完と調和を図り、団結力を発揮させるために、事務局一同、皆様と共に頑張っております。

● 機器利用講習会「風合い試験」 ～繊維技術ロードマップ2030年に向けた 取り組みのヒント～

(滋賀県東北部工業技術センター)

繊維技術ロードマップ策定検討委員であった神戸大学大学院の井上教授をお招きし、風合い試験の内容と原理、応用として2030年に向けた風合い試験の活用方法についてご講演いただきます。是非ご参加ください。

1. 開催日 **2024年2月20日(火)**
2. 内容 第一部：講義 **13:30～15:00**
「風合い試験とその活用方法」
神戸大学大学院 教授 井上真理氏
第二部：実習 **15:00～16:00**
風合い試験機のデモ
3. 場所 滋賀県東北部工業技術センター 2階研修室
※オンライン (Zoom) 併用
4. 問い合わせ先 **TEL: 0749-62-1492** (担当) 山田

※詳しくはこちらをご覧ください。
また、下記ホームページの申し込みフォームからお申込みをお願いします。
<https://www.hik.shiga-irc.go.jp/info/news/20240220>

● 当センター職員が表彰されました

(鳥取県産業技術センター)

○一般財団法人機械振興賞「機械振興協会会長賞」受賞
「光学式非接触測定用高精度化前処理スプレー」(株)フジオカ、小池化学(株)との共同開発(研究員：新見浩司)が、第57回一般財団法人機械振興賞「機械振興協会会長賞」を受賞しました。



従来品に比べて薄く均一な塗膜を付与できる光学式非接触三次元測定機の前処理スプレーの技術が優れた研究開発として評価されました。

○一般社団法人日本計算工学会「技術奨励賞」受賞
「切削加工技術高度化支援のための実測・シミュレーション連携のCAE環境」の研究(研究員：佐藤 崇弘)が、一般社団法人日本計算工学会「技術奨励賞」を受賞しました。



切削加工現象の実測と計算の両面からの見える化から始まる現象解明や、切削技術の高度化に関する学術的かつ工学的な貢献が評価されました。

※詳しくはこちらをご覧ください。
https://tiit.or.jp/user/filer_public/46/b9/46b99a17-8a10-4700-a4c9-ffa363744225/no28_7.pdf

● 第31回地域を活かす科学技術政策研修会 (JAREC研修) in 京都開催 (京都市産業技術研究所)

公益財団法人全日本科学技術協会(JAREC)主催、京都市産業技術研究所・国立研究開発法人科学技術振興機構共催により標題の研修会を開催します。つきましては、是非、ご参加を頂きたく、お願い申し上げます。また、関係者の皆さまにもお声がけ頂けたら幸いです。

1. 日 時： **2024年2月21日(水)・22日(木)** の2日間
2. 会 場： 1日目 京都市産業技術研究所
2日目 京都大学国際科学イノベーション棟
京都市産業技術研究所
3. 開催形態：全体会議(1日目)現地参加
オンライン開催・視察
分科会(2日目)現地参加 ワークショップ・
関連施設見学
4. 対 象： 大学・国研等研究機関・高専・地方自治体・公益法人、民間企業等における研究者
産学官連携従事者および地域を活かす産学連携にご興味のある方

※詳しくはこちらをご覧ください。
また、下記ホームページの申し込みフォームからお申込みをお願いします。
https://www.jarec.or.jp/31th_jarec_symposium/index.html

● ショットキー走査電子顕微鏡(材料組織評価装置付き)を導入

～リモート機能も有しています～

(大阪産業技術研究所和泉センター)

本装置は元素分析用と結晶方位解析用の2種類の検知器を備えた走査電子顕微鏡(SEM)です。材料の組織観察、高速な材料評価および高度な材料組織解析を行うことができます。

また、リモート機能を有しており、インターネット回線を通じ遠隔地から容易に操作することが可能となっています。そのため、来所いただくことなく装置を利用することができます。

【利用対象】

金属、プラスチック、セラミックスなど固体材料全般



会社や自宅から当所の装置をリモート操作できます
(※利用にあたっては技術講習会(無料)の受講が必要)です

※2021年度JKA補助事業で導入

※詳しくはこちらをご覧ください。
https://orist.jp/kouhou/press_release/2022062801.html